

MIYAZAKI

地域学校協働活動と コミュニティ・スクール



みやざきの地域と学校の連携・協働の推進（概要版）



みやざき学び応援ネット

検索

宮崎県教育委員会



Q1.地域と学校の連携・協働の必要性は？

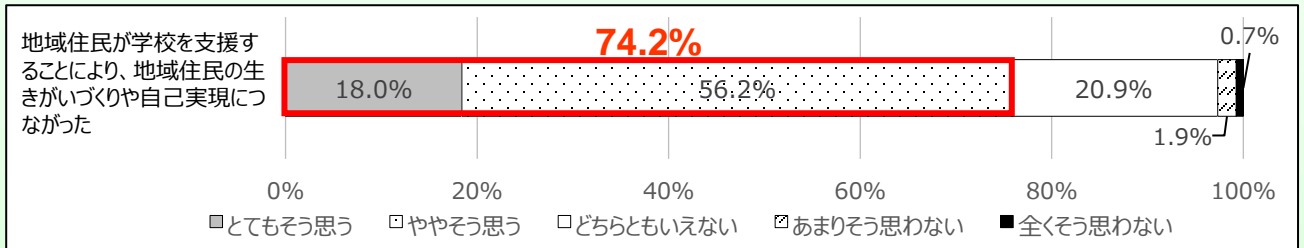
A1. 子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える多様化・複雑化した課題に対応するため、学校と地域・家庭がより連携・協働して子どもたちの成長を支えていくことが求められています。

詳しくは手引きの1ページへ

Q2.地域と学校が連携・協働することによる効果は？

A2. 学校にとっては、「社会に開かれた教育課程」の具現化につながります。また、子どもたちにとっても、保護者や地域住民などの協力を得た学びや体験が充実します。

地域にとっても、地域住民が主体的に教育に参画することで、地域住民の生きがいづくりにつながります。



「令和2年度 学校と地域の連携・協働の推進に関する実態調査」 ※調査対象：県内公立小・中学校、県立学校（県生涯学習課調査）

詳しくは手引きの7ページへ

Q3.「地域学校協働活動」とは、どのような活動？

A3. 「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のことです。

◆ 地域学校協働活動の概念図 ◆



例えば…

- まちづくり、地域課題解決型学習、郷土学習
- 地域行事、イベント、祭り、ボランティア活動等
- 放課後子供教室
- 家庭教育支援活動
- 企業や地域人材等による教育活動（アシスト事業等）
- 学校に対する様々な協力活動

詳しくは手引きの9ページへ

Q4.「地域学校協働本部」とは、どのような体制？

A 4. 地域学校協働活動を推進していく上で要となる組織・体制のことです。幅広い層の地域住民、団体等が参画し、地域の子どもたちのために目的や活動に応じて、関係する団体等と緩やかなネットワークを形成します。

これまでの地域による学校の「支援」から、地域と学校双方向の「連携・協働」を推進し、「個別」の活動から「総合化・ネットワーク化」した活動へ発展させるものです。

◆ 地域学校協働本部の3要素 ◆

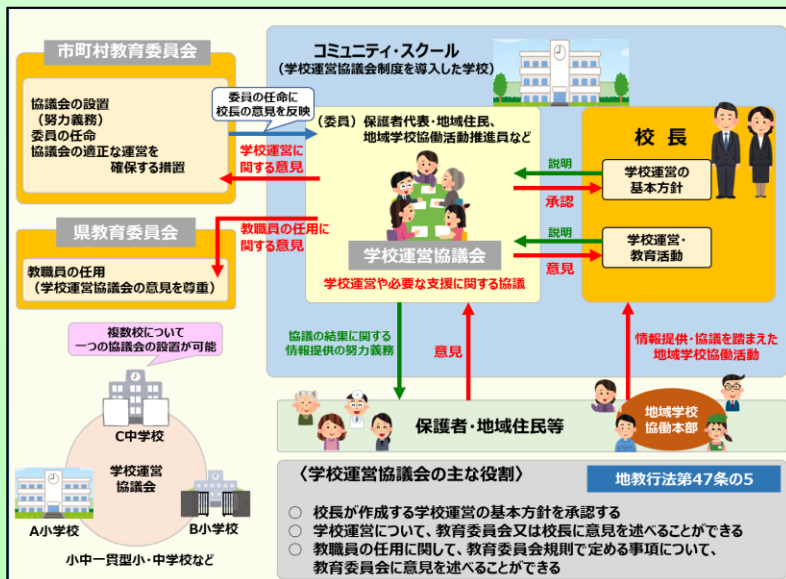
- ① コーディネート機能
(地域住民等や学校関係者との連絡調整、活動の企画・調整を担う役割)
- ② 多様な活動
(より多くの住民等の参画による多様な地域学校協働活動の実施)
- ③ 継続的な活動
(地域学校協働活動の継続的・安定的な実施)

詳しくは手引きの10ページへ

Q5.「コミュニティ・スクール」(学校運営協議会)とは？

A 5. コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会制度を導入した学校を呼びます。学校運営協議会では、地域でどのような子どもたちを育てるか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民と共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」を目指します。

◆ コミュニティ・スクールの仕組み ◆



学校運営協議会の主な3つの機能

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる。
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる。

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5)

学校運営協議会制度ポイントはこれ!!

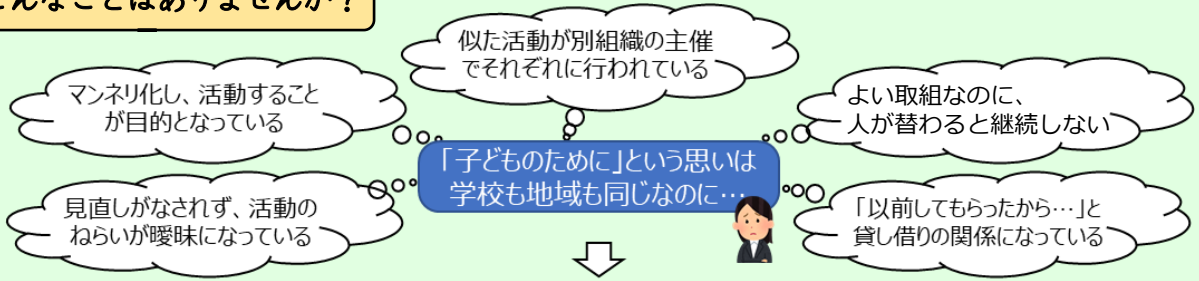


詳しくは手引きの13ページへ

Q6.地域と学校の連携・協働を充実させるために大切なことは？

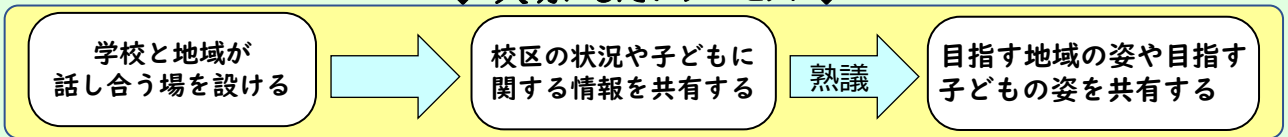
A 6. 目的や目標を共有させることです。

こんなことはありませんか？



目的や目標の共有が必要！

◆ 大切にしたいプロセス ◆



「熟議」とは、よりよい集団（学校）生活や人間関係を築くために、「協働して取り組む一連の自主的、実践的な活動」を「話し合い」を重ねながら生み出そうというものです。

詳しくは手引きの17ページへ

Q7.具体的な事例はありますか？

A 7. 体制整備や活動の充実に係る事例、地域学校協働活動推進員の声など、様々な事例が手引き書には掲載されています。ぜひ手に取ってご覧ください。



【目標共有・協働活動の熟議「しゃべり場」】



【地元アシスト企業での木工体験】

詳しくは、これを見てね



【竹とんぼづくりの様子】



詳しくは手引きの33～52ページへ



みやざき学び応援ネット

検索

詳しい内容は手引きをご覧ください。左のWebサイトへ!!

